

第27回V・ファーレン長崎支援会長崎支部会議事録要約

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

下記の通りご報告申し上げます。

1：日時 2012年11月14日（水） 19:00～21:00

2：会場 長崎市市民会館第3会議室

3：参加者 竹村栄哉(クラブ)、平鍋会長、大山支部長、藤原運営委員長（支援会）、一般参加 15名（計 19名）

4：議題

- (1) V・ファーレン長崎からの報告の件
- (2) V・ファーレン長崎支援会からの報告の件
- (3) サポートーズコンベンション（カンファレンス）についての件
- (4) サクセスパートナー制度の現状と今後の件
- (5) ボランティア制度の件

5：概要

(1) V・ファーレン長崎からの報告の件

- ・J2昇格及びリーグ優勝の報告とこれまでの謝意が示された。

(2) V・ファーレン長崎支援会からの報告の件

- ・11/4のホームタウン清掃活動は荒天中止となった事、選手参加が予定されていた事が報告された、
- ・11/4実施の観戦者簡易アンケート結果により、11/4の試合は佐世保在住者の割合が3割以上と長崎市在住者の4割に次ぐ割合であった事が報告された。また、これまでの傾向と同様に佐世保開催時の島原在住者の割合は3%と低調である事が確認された。
- ・11/18のホームゲームで“J”ゲーフラを配布を予定している事が報告された。

(3) サポートーズコンベンション（カンファレンス）開催の件

- ・12月19日の第28回支援会をサポートーズカンファレンスとして開催する事が決定した。

(4) サクセスパートナー制度の現状と今後の件

- ・現状の制度、クラブの姿勢に対して商店街側の不満がある事が示された。これに対して、クラブがオフシーズンに制度の再整備などを行ってしっかり打ち合わせを行って行くとの解答がなされた。

(5) ボランティア制度について

- ・制度、告知、待遇などの問題点の指摘に対して、クラブがオフシーズンに制度を整備する事を約束した。

6.次回日程：

- ・第6回支援会諫早部会 12月4日（火）19：30～諫早市社会福祉会館
- ・V・ファーレン長崎サポートーズカンファレンス（第28回支援会長崎部会）
12月19日（水）19:00～長崎市市民会館第3・4会議室

（以上）

第26回V・ファーレン長崎支援会長崎支部会議事経過及び所見

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

1：議事経過及び所見

(1) V・ファーレン長崎からの報告の件：

議事経過： V・ファーレン長崎の竹村栄哉氏より昇格についての報告が行われ、これまでの協力の御礼と今後の抱負が述べられた。また後藤氏より同様の御礼が述べられた。

(2) V・ファーレン長崎支援会からの報告の件：

議事経過： 藤原運営委員長より「ホームタウン清掃活動～愛してる かきどまり～」を11月4日のホームゲーム後に実施予定であったが、荒天の為に中止となった事が報告された。また本イベントには初めて選手の参加が予定されていた事、中止の決定後は選手が清掃参加者に選手カード配布を行った事が報告された。

続いて支援会の賈来氏より11/4実施のホームゲーム観戦者簡易アンケートの結果が報告され、11/4の試合では、これまでの他会場での試合と違い、佐世保在住者の割合が3割以上と長崎市在住者の4割に次ぐ割合であった事、一方でこれまでの傾向と同様に佐世保開催時の島原在住者の割合は3%と低調である事が報告された。

最後に藤原運営委員長より11/18のホームゲーム最終戦で支援会で“J”ゲーフラを観客に配布を行いたいとの説明がなされた。これに対して後藤氏より同企画を了承する方針である事が示され、ゲーフラの“J”の文字についてJリーグの意匠を無断使用する事のないように注意喚起が行われた。

(3) サポーターズコンベンション（カンファレンス）についての件：

議事経過： 藤原運営委員長より第26回支援会で「12/19開催予定の第28回支援会をサポーターズカンファレンスとして開催出来ないか」とクラブに提案した事が説明された。これに対して竹村・後藤氏よりクラブとして開催の方針であるとの返答が行われ、12/19の第28回支援会はサポーターズカンファレンスとする事とした。また竹村氏よりJリーグに挑むにあたってフロント、選手、サポーターが出来るだけ多く参加した方が良いのではないかと意見が出され、クラブに対して出来るだけ多くのスタッフが参加を呼びかけ、選手会にも参加を呼びかける事を方針とした。

(4) サクセスパートナー制度の現状と今後についての件：

議事経過： 新大工商店街関係者より同制度に関して「サクセスパートナーとそれ以外の町の差別化が見えない」との指摘がなされ、また商店街は予算を投入して色んな事を行っているが、クラブがそれに應えるような効果をもたらしておらず、クラブの積極的な姿勢も乏しいとの指摘がなされた。

これに対して後藤氏より、同企画は初めての試みであった為に試行錯誤であった事の反省が述べられ、オフシーズンに向けて打ち合わせや制度整備をしっかりと行いたい方針が述べられた。あわせて、現在サクセスパートナーが増加中である事から、今後は一元化して対応して行きたいとの説明がなされ、商店街関係者も了解した。

(5) ボランティア制度についての件：

議事経過： 現在のボランティア制度の必要人数について竹村・後藤両氏の解説に基づいて説明がなされた後、これまで指摘されたボランティアの問題点「制度」「スタッフの意識」「PR」等について述べられた。一般参加者よりザスバ草津のボランティア参加特典などを例に特典の重要性が述べられた。一方で、ボランティアを行う事自体に誇りを感じるような取り組みをしていく必要性も指摘された。

これに対して、竹村氏より現状のクラブでは対応出来ていないとの反省が述べられた。また後藤氏より開幕までの時間との戦いとなるが、オフシーズンにしっかりとした制度や環境を作って行きたいとの返答が行われた。一般参加者より「今シーズンを最後にボランティアを辞めると決めている人が大勢いる理由を考えて欲しい」との意見があがり、竹村氏より「会社として受け止めて対処していかないといけない」との返答がなされた。

また一般参加者より現在のオフィシャルサイトではボランティア募集などが非常に判りにくく、使い難いとの指摘がなされた。またJリーグ昇格が決定した際にトップページにすぐ記載があったように対応も早く出来る筈なのに、なぜ、これまで出して要望などは対応出来ていないのか？との意見があがった。オフィシャルサイトについてはスマートフォンや携帯から閲覧する際にも表示がズレたり、正常に表示されないケースが多く、非常に使い勝手が悪いとの意見が相次いだ。

藤原運営委員長より今後の支援会スケジュールが説明され閉会した。

- ・第6回支援会諫早部会 12月4日（火）19：30～諫早市社会福祉会館
- ・V・ファーレン長崎サポーターズカンファレンス（第28回支援会長崎部会）
12月19日（水）19:00～長崎市市民会館第3・4会議室

（以上）

V・ファーレン長崎支援会運営部
vnnsienkai@yahoo.co.jp